



代表理事組合長

佐藤 謙 悦

農業者の所得増大、
産地拡大に努め、より一層の
地域農業振興に取り組む

あけましておめでとうござい
ます。組合員並びに当JAを御利用
頂いております皆様には、新年が希
望に満ちた輝かしい年でありませ
よう願っております。

と、春先の雪消えは早く、気温は
高めで推移したものの、天気は数
日の周期で変わり、日照が少ない
状況から作物の生育に停滞がみ
れました。8月に入ってから晴
れの日が多かったが気温がかなり

低い状態が続いたほか、台風の発
生が多くその進路についても心配
の連続となる年となりました

平成30年の稲作については、東
北農政局が発表した県北部の作
況は「96」となり、平均収量は
541kg/10aとなりました。当
JAの集荷数量は計画対比83・
1%（平成30年12月12日）、一等
米比率は95・2%の実績となりま
した。今後、高品質、良食味米の
栽培に向け、土壌改良剤の施用に
よる地力向上や水田内外の雑草対
策などを検討し、安全・安心な信
頼される『あきた白神米』作りに
取り組んでまいります。

青果物については、「白神ね
ぎ」の販売額が12月中旬には販売
額14億円を超え、今年度は15億円
の販売額を目指し、残された期間、
全力で有利販売に努めてまいりま
す。また「白神みょうが」につ
きましては、根茎腐敗病の発生が懸
念されましたが、そのような被害
も少なかったこともあり、収穫は
遅れたものの3年連続での販売額
1億円を突破することができまし

謹んで新年の

ご挨拶を

申し上げます

代表理事組合長

佐藤 謙 悦

代表理事専務

佐原 操

常務理事

小林 義 昌

理事

佐々木 博 子

理事

桂 田 忠 雄

理事

中 川 正 一

理事

大 塚 公 隆

理事

齊 藤 幸 蔵

理事

池 端 秀 巳

理事

金 谷 隆 夫